

## The 13th NTCIR Conference (NTCIR-13)

## 第13回 NTCIR カンファレンス 会議参加者募集

Evaluation of Information Access Technologies

第8回 情報アクセスの評価に関する国際ワークショップ (EVIA 2017)

The 8<sup>th</sup> International Workshop on Evaluating Information Access

2017年 12月5日(火) - 8日(金)

会場：学術総合センター（東京・千代田区）National Center of Sciences, Tokyo, Japan

主催：国立情報学研究所 National Institute of Informatics (NII)、NTCIR 実行委員会

URL：<http://research.nii.ac.jp/ntcir/ntcir-13/conference.html>

(使用言語：英語)

NTCIR (エンティサイル、NII Testbeds and Community for Information access Research) は、情報検索・質問応答・要約・テキストマイニング・機械翻訳など、膨大な情報の中から所望の情報にアクセスし情報の理解や活用を支援する技術のための大規模な評価基盤を、国内外の多数の研究者が共有しつつその共通基盤の上でそれぞれの研究を進め、検証、比較評価し、相互に学びあうフォーラムを形成するプロジェクトです。1998年から開始し、より豊かな情報アクセス技術の実現と未来価値創成を標榜し、1年半を1回のサイクルとして、毎回、いくつかのタスク (= 研究部門) を選択して、活動を進めてきました。カンファレンスでは、タスク参加チームの研究成果や比較評価によって得られた知見を発表します。本年12月に開催される第13回 NTCIR カンファレンス基調講演には Omar Alonso (Microsoft) をお招きしています。EVIA 2017 は、情報アクセス技術の評価手法に関する研究発表の場です。NTCIR のサテライトワークショップとして広く一般から論文を募集しています。

## 第13回 NTCIR 研究部門 (タスク)

第13回 NTCIR では9つのタスクを選定しました。19カ国から100以上の団体が参加表明し、実験を進めています。

**コアタスク：** Lifelog-2 (多様なデバイスを用いて蓄積したマルチモダルライフログデータの検索と要約)、MedWeb (Twitterの発言テキストに対する病名ラベリングおよび病名抽出)、OpenLiveQ (Yahoo!知恵袋の実サービス環境にて評価が行われる質問検索タスク)、QALab-3 (実世界質問応答。対象は論述問題を含む大学入試(世界史))、STC-2 (ユーザの発言に対し、システムは適切な応答を検索できるか?生成できるか?)

**パイロットタスク：** AKG (行動的な検索意図のためのナレッジグラフ生成)、ECA (ニュース文書から感情およびその原因を抽出)、NAILS (脳波を用いた画像内容のラベル付け)、WWW (還ってきたウェブ検索タスク - 少なくとも3回のNTCIRに渡る評価を行い、技術進歩を定量化します)



## 第13回 NTCIR カンファレンス・EVIA 2017

NTCIR-13 カンファレンス&EVIA2017 はどなたでもご参加いただけるオープン・イベントです。前回 NTCIR-12 カンファレンスでは21カ国から236名の参加者が集まり、実りある議論を行いました。皆さまからのご参加をお待ちしています!

**基調講演：** Omar Alonso (Microsoft)

お問い合わせ： NTCIR 実行委員会 [ntc-oc@nii.ac.jp](mailto:ntc-oc@nii.ac.jp) | NTCIR カンファレンス事務局 [ntc-mtg-sec@nii.ac.jp](mailto:ntc-mtg-sec@nii.ac.jp)